

平成 30 年 7 月 12 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

東北大学災害科学国際研究所  
「平成 29 年度共同研究成果報告会  
兼プロジェクトエリア・ユニット報告会」  
を開催します。

東北大学災害科学国際研究所では、①他機関との「共同研究」と②所内研究活動を強化する「プロジェクトエリア・ユニット制による研究」によって、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進しています。①は、弊所の施設、研究機器、情報構築、人的体制、ネットワークの整備などの研究所リソースを活用した、所外・全国の研究者と弊所の受入れ研究者による共同研究助成プロジェクトです。②は、2016 年 4 月から開始した自然・社会環境、文化・歴史が異なる地域のニーズに適した支援を実施する新しい体制による研究です。

本報告会は、学内外・一般の方々と最新の知見を広く共有し、研究成果の社会への活用の増進、さらには研究の連携・融合を図ることを目的としています。どなたでも参加できますので、奮ってご参加いただければ幸いです。また、各所でもご案内いただければ幸いです。

日時:2017 年 7 月 21 日(土)9:00~17:15

会場:東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟 1 階  
多目的ホール・セミナー室(別紙参照)

共同研究 34 件の口頭発表、プロジェクトエリア報告 21 件のポスター発表を行います。  
プログラムの詳細は別掲資料をご参照ください。また、インターネットにも同様のものを掲載しています。(URL <http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum2017/20170729.html>)

8:30	開場
9:00- 9:10	開会の挨拶(今村 文彦 所長, 会場:多目的ホール)
9:10-12:20	[共同研究:午前の部]口頭発表
12:20-13:20	昼食
13:20-14:10	[プロジェクトユニット]ポスターセッション・コアタイム(50 分)※常設
14:10-17:00	[共同研究:午前の部]口頭発表
17:00-17:15	閉会の挨拶(伊藤 潔 副所長, 会場:多目的ホール)

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所

担当:中鉢奈津子・鈴木通江(広報室)

電話(広報室) 022-752-2049

E-mail(広報室) [koho-office@irides.tohoku.ac.jp](mailto:koho-office@irides.tohoku.ac.jp)

イベント

東北大学災害科学国際研究所 IRIDeS 金曜フォーラム  
平成 29 年度共同研究成果報告会  
兼プロジェクトエリア・ユニット報告会

災害科学国際研究所は発足以降、災害科学関連の研究領域において多様な共同研究を実施し、実践的防災学の発展につながる数多くの実績を挙げてきました。同時に、本邦の学際的な災害科学研究を推進する中核拠点となり得る施設、研究機器、情報構築、人的体制、ネットワークを整備して参りました。全国関連領域の研究者に本研究所のリソースを活用した共同研究の促進を目的とした助成を行っています。

また、当研究所では、自然・社会環境、文化・歴史が異なる地域の支援ニーズや調査に迅速に適應するために、2016年4月から新たにプロジェクトエリア・ユニット制を当研究所に導入しました。

本会では、昨年度に実施された共同研究の成果とプロジェクトエリア・ユニットの活動成果について、下記の要領で報告いたします。

1. 日時

2018年7月21日(土) 9:00~17:15

2. 会場

東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟 1階 多目的ホール・セミナー室  
(P.7参照)

3. プログラム

8:30	開場
9:00-9:10	開会の挨拶(所長:今村 文彦、会場:多目的ホール)
9:10-12:20	[共同研究]口頭発表(午前の部17件)
12:20-13:20	昼食 ※会場隣の建物(青葉山 commons)の食堂は営業、売店はローソン(地下鉄方面)
13:20-14:10	[プロジェクトエリア・ユニット]ポスターセッション(50分)
14:10-17:00	[共同研究]口頭発表(午後の部17件)
17:00-17:15	閉会の挨拶(副所長:伊藤 潔、会場:多目的ホール)

# 口頭発表プログラム

## 【1階セミナー室】

(発表 15 分+質疑応答 5分)

※ ○は発表者を示す。

### 9:10-9:30 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】-1

東北地方主要活断層帯の断層変位地形のアーカイブ化

石村 大輔 (首都大学東京 都市環境学部)

○ 今野 明咲香 (災害理学研究部門・国際巨大災害分野)

所内共同研究者：遠田 晋次 (災害理学研究部門・国際巨大災害分野)

### 9:30-9:50 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】-2

阿蘇カルデラ内の熊本地震地震断層の活動史の解明

鳥井 真之 (熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター)

○ 所内共同研究者：遠田 晋次 (災害理学研究部門・国際巨大災害分野)

### 9:50-10:10 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】-3

地震災害後の診療継続に向けた連携構築に関する研究～熊本地震並びに東日本大震災を経験した医療施設への質問紙調査から～

○ 前田 ひとみ (熊本大学大学院 生命科学研究部)

所内共同研究者：児玉 栄一 (災害医学研究部門・災害感染症学分野)

### 10:10-10:30 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】-4

海溝型巨大地震発生予測に資する海底地殻変動場把握のための観測点施設の共同利用およびデータの共用化

○ 田所 敬一 (名古屋大学・環境科学研究科)

所内共同研究者：木戸 元之 (災害理学研究部門・海底地殻変動研究分野)

### 10:30-10:50 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】-5

携帯電話位置情報を用いた、人の移動行動の災害ダメージとその回復過程の研究

○ 山口 裕通 (金沢大学 自然科学研究科)

所内共同研究者：奥村 誠 (人間・社会対応研究部門・被災地支援研究分野)

### 10:50-11:00 (休憩 10分)

### 11:00-11:20 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】-6

岩手県沖で発生する様々な繰り返し地震系列の破壊過程に関する研究

○ 金 亜伊 (横浜市立大学 学術院総合科学群)

所内共同研究者：内田 直希 (災害理学研究部門・地震ハザード研究分野)

### 11:20-11:40 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】-7

阿蘇大橋崩壊地における先阿蘇火山岩類の層序と年代(1)：地表設置型合成開口レーダ(GB-SAR)計測地点の地質データ取得

○ 長谷中 利昭 (熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター)

所内共同研究者：佐藤 源之 (災害リスク研究部門・広域被害把握研究分野)

11:40-12:00 【災害アーカイブ】-1

防災対策における地域の相互扶助の機能に関する提案～日本と東南アジアとの保健学的な地域間比較研究～

○ 松田 正巳（東京家政学院大学 現代生活学部健康栄養学科）

所内共同研究者：柴山 明寛（情報管理・社会連携部門・災害アーカイブ研究分野）

12:00-12:20 【災害アーカイブ】-2

津波デジタルライブラリ管理運用拡張のためのクラウドソーシング技術の応用

○ 有次 正義（熊本大学大学院 先端科学研究部）

所内共同研究者：柴山 明寛（情報管理・社会連携部門・災害アーカイブ研究分野）

12:20-13:20 昼食

※会場隣の建物（青葉山 commons）の食堂は営業、売店はローソン（地下鉄方面）

13:20-14:10 【プロジェクトエリア報告】  
（ポスターコアタイム 1階 エントランスホール）

14:10-14:30 【災害アーカイブ】-3

水損被害を受けた紙媒体資料の歴史情報復旧に向けた検討

○ 松下 正和（神戸大学 地域連携推進室）

所内共同研究者：佐藤 大介（人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野）

14:30-14:50 【災害アーカイブ】-4

東日本大震災および熊本地震における仙台市の災害対応に関するエスノグラフィ  
ー・アーカイブスの構築

○ 田中 聡（常葉大学 大学院環境防災研究科）

所内共同研究者：佐藤 翔輔（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

14:50-15:10 【災害アーカイブ】-5

熊本地震の震災アーカイブ構築に関する研究

○ 山尾 敏孝（熊本大学大学院 先端科学研究部）

所内共同研究者：柴山 明寛（情報管理・社会連携部門・災害アーカイブ研究分野）

15:10-15:30 【災害アーカイブ】-6

岩手県沿岸部における災害資料の整理・アーカイブと災害研究

○ 奥村 弘（神戸大学大学院 人文学研究科）

所内共同研究者：蝦名 裕一（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）

15:30-15:40 （休憩 10分）

15:40-16:00 【災害アーカイブ】-7

広域連携を通じた東日本大震災被災地の歴史文化復元に関する研究

○ 青柳 周一（滋賀大学 経済学部）

所内共同研究者：佐藤 大介（人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野）

16:00-16:20 【災害アーカイブ】-8

震災アーカイブの防災教育とまちづくりへの活用に関する研究

○ 竹内 裕希子（熊本大学 大学院先端科学研究部）

所内共同研究者：柴山 明寛（情報管理・社会連携部門・災害アーカイブ研究分野）

16:20-16:40 【災害アーカイブ】-9

判読可能な津波石碑碑文画像の取得

○ 上梶 英之（国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター）

所内共同研究者：蝦名 裕一（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）

16:40-17:00 【災害アーカイブ】-10

災害経験情報を軸とした災害アーカイブの統合化手法研究

○ 池田 真幸（国立研究開発法人防災科学技術研究所）

所内共同研究者：佐藤 翔輔（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

# 口頭発表プログラム

【多目的ホール】

(発表 15 分+質疑応答 5分)

※ ○は発表者を示す。

9:10-9:30 【災害医学・医療】-1

放射線災害発生時における放射線被ばくストレス定量法の確立

盛武 敬 (産業医科大学 産業生態科学研究所 放射線健康医学研究室)

○ 孫 略 (筑波大学医学医療系生命医科学域放射線生物学研究室)

所内共同研究者：千田 浩一 (災害医学研究部門・災害放射線医学分野)

9:30-9:50 【災害医学・医療】-2

東日本大震災の教訓を活かした熊本地震後の精神保健支援活動体制の検討

○ 山口 喜久雄 (熊本県精神保健福祉センター)

所内共同研究者：富田 博秋 (災害医学研究部門・災害精神医学分野)

9:50-10:10 【災害医学・医療】-3

副都心新宿の指定避難所近隣町会・学校・行政等との連携で進める災害対策：被災時の医療・保健・福祉体制支援システムの検討

○ 坪内 暁子 (順天堂大学大学院 医学研究科 研究基盤センター)

所内共同研究者：佐藤 健 (情報管理・社会連携部門・災害復興実践学分野)

10:10-10:30 【津波減災学】-1

津波統合モデル解析の高度化

○ 高橋 智幸 (関西大学 社会安全学部)

所内共同研究者：山下 啓 (地震津波リスク評価 (東京海上日動) 寄附研究部門)

10:30-10:50 【津波減災学】-2

津波レジリエントな地域防災に向けた地域カスタマイズ型津波解析プラットフォームの検討

○ 古村 孝志 (東京大学 地震研究所)

所内共同研究者：今村 文彦 (災害リスク研究部門 津波工学研究分野)

10:50-11:00 (休憩 10分)

11:00-11:20 【津波減災学】-3

高詳細な地震・避難解析に基づくオンライン体験シミュレーションのソフト防災への利活用

○ 浅井 光輝 (九州大学大学院 工学研究院)

所内共同研究者：寺田 賢二郎 (地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野)

11:20-11:40 【津波減災学】-4

応答曲面を用いた津波リスク評価手法構築のための基礎的検討

○ 福谷 陽 (関東学院大学 理工学部)

所内共同研究者：森口 周二 (地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野)

11:40-12:00 【津波減災学】-5

地下レーダーを活用した石巻平野における古津波履歴の解明

○ 菅原 大助（ふじのくに地球環境史ミュージアム 学芸課）

所内共同研究者：後藤 和久（災害リスク研究部門 低頻度リスク評価研究分野）

12:00-12:20 【防災人材育成・地域再創生学】-1

災害を生きる力因子を特徴づけるパーソナリティ特性の解明

○ 本多 明生（山梨英和大学 人間文化学部）「今年度から静岡理工科大学」

所内共同研究者：杉浦 元亮（人間・社会対応研究部門 災害情報認知研究分野）

12:20-13:20 昼食

※会場隣の建物（青葉山 commons）の食堂は営業、売店はローソン（地下鉄方面）

13:20-14:10 【プロジェクトエリア報告】  
（ポスターコアタイム 1階 エントランスホール）

14:10-14:30 【防災人材育成・地域再創生学】-2

ケースマネジメント支援システムを活用した伴走型生活再建支援員の標準的研修プログラムの開発と実践

○ 立木 茂雄（同志社大学 社会学部）

所内共同研究者：佐藤 翔輔（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

14:30-14:50 【防災人材育成・地域再創生学】-3

熊本地震被災地の企業の事業継続計画（BCP）の推進人災の育成

○ 藤見 俊夫（熊本大学大学院 先端科学研究部）

所内共同研究者：丸谷 浩明（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）

14:50-15:10 【防災人材育成・地域再創生学】-4

学校・地域・行政の協働による地域防災力向上のための防災人材育成モデルの開発～宮城県石巻市における「石巻モデル」構築に向けて～

○ 村山 良之（山形大学大学院 教育実践研究科）

所内共同研究者：佐藤 健（情報管理・社会連携部門・災害復興実践学分野）

15:10-15:30 【防災人材育成・地域再創生学】-5

東日本大震災発生後の教育行政の取組による日本の被災地及び被災懸念地域への防災教育・防災管理の改善と課題

藤岡 達也（滋賀大学 教育学部）

○ 所内共同研究者：佐藤 健（情報管理・社会連携部門・災害復興実践学分野）

15:30-15:40 （休憩 10分）

15:40-16:00 【防災人材育成・地域再創生学】-6

地域再創生学に資する多次元総合可視化システムを用いた教育用コンテンツの開発

○ 目黒 公郎（東京大学 地震研究所 生産技術研究所）

所内共同研究者：村尾 修（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）

16:00-16:20 【防災人材育成・地域再創生学】-7

人の心に訴える3次元可視化コンテンツへの挑戦

○ 高瀬 慎介（八戸工業大学 工学部）

所内共同研究者：寺田 賢二郎（地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野）

16:20-16:40 【防災人材育成・地域再創生学】-8

地域に根ざした学校防災を展開するための学校・家庭・地域の協働モデル構築

○ 林田 由那（早稲田大学 教育・総合科学学術院）

所内共同研究者：佐藤 健（情報管理・社会連携部門・災害復興実践学分野）

16:40-17:00 【防災人材育成・地域再創生学】-9

小学校を核とした地域版HUGの作成を通じた防災教育効果

○ 草苅 敏夫（独立行政法人国立高等専門学校機構 釧路工業高等専門学校）

所内共同研究者：佐藤 健（情報管理・社会連携部門・災害復興実践学分野）



## ポスター【プロジェクトエリア・ユニット報告】

各プロジェクトエリア・ユニットのメンバーリストにある、下線のほどこされたメンバーは、平成29年度までのメンバー。また、[ ]に囲まれたメンバーは平成30年度から新たに参加したメンバーです。なお、このプロジェクトエリア・ユニット報告は、平成29年度の活動報告です。

(コアタイム：13:20~14:10 1階 エントランスホール)

	<b><u>災害の発生メカニズム解明・予測 {木戸 元之}</u></b>	
場	ハザード評価	※木戸・遠田・福島・岡田・川田・今野 P01, P02
	被害予測と軽減	※今村・後藤・サッパシー・佐藤（翔）・[門廻]・保田 P03
	<b><u>自然災害アーカイブシステムの構築・運用 {佐藤 健}</u></b>	
情報	アーカイブ	※川島・蝦名・佐藤（大）・柴山・ボレー P04
	災害統計	※小野・[佐々木（大）] P05
	防災教育・人材養成	※佐藤（健）・杉浦・邑本・定池 P06, P07
	<b><u>被災地支援・受援を効率化する組織と技術 {越村 俊一}</u></b>	
組織	減災・復興支援技術	※奥村・[水谷] P08
	災害空間情報解析	※越村・有働・マス・[橋本] P09, P10, P11
	<b><u>構造制御技術と多重防御技術による地域・都市レジリエンスの向上 {寺田 賢二 郎}</u></b>	
もの	人的・物的被害軽減	※五十子・大野 P12, P13
	レジリエント社会基盤	※寺田・森口・[山口] P14, P15
	<b><u>広域・複合災害・マルチハザード対応型災害医学・医療の確立 {富田 博秋}</u></b>	
健康	災害と健康	※富田・伊藤・江川・栗山・児玉・千田・三木・稲葉・佐々木（宏）・兪・飯田・[奥山] P16, P17, P18
	<b><u>総合的減災システムのデザインと社会実装 {丸谷 浩明}</u></b>	
総合減災	減災・復興デザイン	P19
		※村尾・岩田・井内・平野・泉・マリ P20
	減災社会実装	※丸谷・寅屋敷 P21

## 会場案内

東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟

〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

※ 駐車場はご利用いただけませんので、公共交通機関でお越しください。

TEL : 022-752-2011 FAX : 022-752-2013

Eメール : [forum@irides.tohoku.ac.jp](mailto:forum@irides.tohoku.ac.jp)

### 【市営地下鉄】

仙台駅から

仙台市営地下鉄東西線 八木山動物公園行き 「青葉山駅」下車

南1出口から徒歩約3分

### 【タクシー】

仙台駅からの所要時間：約20分

料金：約1,600円

※大まかな目安です。道路の混雑の状況などによって異なります。

## 青葉山新キャンパスへのアクセス地図

